

條ノ場合ニ於テ警察官ノ認可若クハ許可ヲ得タル
ルハ其ノ檢印ヲ受クヘシ第二項第三項モ亦同シ

第二物品賣渡明細帳

此ノ帳簿ニハ物品賣渡又ハ讓渡シタルル片第二號書
式ニ準シ記載スヘシ

第三物品預帳

此ノ帳簿ニハ物品ヲ預リタルル片第三號書式ニ準シ
記載ス可シ

第四品觸帳

此ノ帳簿ニハ品觸到達シタル年月日時ヲ記入シ散
逸セサル様順次綴リ置クヘシ

第八條 古物商ニシテ床店又ハ露店トコミセ刀劍商ロウケンニテ販賣若
クハ行商カウシヤウヲサントスル者ハ第一條ノ手續ヲ以テ左

ノ彫形ノ木札ヲ製シ警視廳ノ檢印ヲ受ケ床店及露
店ニ於テハ店頭ニ標出シ行商ハ之ヲ顯アラハニ携帯ケイダイス可
シ若シ雇人ヲシテ本業ヲ爲サシムルル片ハ尙雇人ノ氏
名年齢ヲ記載スヘシ但シ廢業シタルル片ハ第一條ノ手
續ニ依リ警視廳ニ届出テ鑑札ノ消印ヲ乞フヘシ鑑札ノ圖

ハ略
ス)

第九條 古道具及ヒ古銅鐵商ノ類ニシテ物品ヲ買廻ル

ルハ其ノ物品ヲ顯ハニ携持スヘシ

第十條 商品ヲ他府縣ニ運送セントスル時ハ一日前

取締ニ付セラレタル者ハ三日前 又他府縣ヨリ受取りタルキハ到着後一

日以内ニ所轄警察署ヘ届出可シ

第十一條 他府縣ヘ運送スル荷物ニハ差出人及ヒ請取

人ノ住所氏名并ニ其ノ物品ノ類名標記スヘシ

第十二條 此ノ規則ニ違反シタル者ハ古物商取締條例

ニ明文アルノ外ハ違警罪ノ刑ニ處セラル可シ

第一號 物品買入明細帳書式以下略ス

○明治十七年三月十五日第一局通知略

古物商區別別紙之通り治定致候條此段及御通知候也

一古道具商ハ刀劍ニ付屬セル金具其ノ他武器ニ屬スル

物品骨董書畫軸物并ニ額面屏風建具類勝手道具鍋釜

鐵瓶金盃袋物鼈甲類等一切ノ古物ヲ賣買交換スルモ

ノチ云フ

一古書畫ハ裝飾シタル軸物額面屏風其ノ他一切ノ書畫

雜

及ヒ錦畫草雙紙ノ類ヲ買賣交換スルモノヲ云フ

一古銅鐵ハ銅鐵眞鍮錫鉛類ヲ以テ製造シタル古物其

他ノ地金ノミヲ單ニ買賣交換スル者ヲ云フ

袋物屋 小間物屋 籠甲屋 飾屋 煙管屋

右五商ハ從來取扱フ本業物品ノ内古物ヲ買賣交換スルモノヲ云フ

一潰シ金銀ハ金銀器及ヒ古金銀其ノ他一切ノ地金類ヲ買賣交換スルモノヲ云フ

一刀劍商ハ日本刀鎗長刀蝙蝠傘杖等ニ仕込タル刀劍其

ノ他洋製ノ劍類ヲ買賣交換スルモノヲ云フ但シ該商ニ

シテ刀劍ニ付屬スル古道具ヲ買賣交換スルモノハ古道具商ノ免許ヲ受クルニ及ハサルモノトス

一古本商古書籍和漢洋刊行寫本ノ別ナク古圖書日本繪圖萬國繪圖等ノ類等ノ類ヲ賣

買交換スル者ヲ云フ

一馬具屋ニシテ馬具弓矢其ノ他武器ニ關スル一切ノ古物ヲ買賣交換スルモノハ古道具商ノ免許ヲ受ルモノ

トス

一時計商銚屋籠甲屋煙管屋等ニテ一時直シ物ヲ預ルハ

雜

條例ニ依リ問フヘキモノニアラス

但シ俗ニ(ラチヤキセル)ト稱シ僅少キンセウノ古煙管ヲ露店ニ於テ

賣買交換シ又ハ行商スルモノハ煙管商ノ免許ヲ受ル
モノトス

一袋物屋ニテ古煙管其ノ他袋物ニ屬スル古鐵具類コテツケヲ賣

買交換スルモノハ該商ノ本業トスルヲ以テ他ノ免許

ヲ受ルコ及ハサルモノトス

一銚屋煙管屋ニシテ金銀銅鐵ノ古物品チカチヲ地鐵トシテ買

入ル、モノハ該商ノ本業トスルヲ以テ他ノ免許ヲ受

ルニ及ハサルモノトス

一鍛冶職銃前職ニテ古銃前古車輪車コシヤリンクルマノ古バチソダノ類ヲ下

鐵カチニシテ賣買交換スルモノハ古銅鐵商ノ免許ヲ受ル

モノトス

一官廳町村學校等ノ印章記號インシヤウキガウアル物品一旦證人ノ證明

ヲ經タル確證クワクアルモノハ轉帳タンザンシテ他ヘ賣買スルト雖

モ再ヒ證人ヲ要セス

一古着商ニシテ反物タンモノヲ賣買交換シタルハ成規ニ依テ

明細帳ニ詳記スルモノトス

但レ古物商ノ免許ヲ得タルモノト雖モ袋物屋ニテ新
規^キノ切^キレ又ハ革類^{カハレ}小間物屋ニテ新規ノ物品ヲ仕入レ
ルカ如キ類ハ此ノ限ニアラズ

一他府縣ノ免許證ヲ所持スルモノ當府下旅店又ハ懸意^{コソイ}
ノ家ニ一時止宿^{店ヲ開設セスシ}テ賣買スルモノ所持ノ物品ヲ營業者ト

否トナ問ハス賣渡スルモノハ不問ニ付スヘシ
但^シ支店ヲ開キ或ハ寄留届ヲ爲シタル者賣買スルハ

古物商取締條例細則ニ依テ當廳ノ免許ヲ受ルモノト
ス

一古物商ニアラスシテ一時所有ノ古物品ヲ販賣スル者

ハ古物商取締條例ニ依ルノ限ニアラス

一他府縣下ニ旅行シ賣買交換スルモノト雖モ自身提携^{ツクシテイカイ}
スルカ如キ物品ハ賣買帳ニ明記スルノミニテ條例第

九條ニ依ルノ限ニアラス

○明治二十年一月二十八日東京府令第五號

區部郡部地方稅徵收規則左之通相定メ本年四月一日日
リ施行ス

但本規則ニ抵觸スル從前ノ令達ハ本文施行ノ日ヨリ廢

止ス

區部地方稅徵收規則

第一章

地租制

第一條 地租割ハ地租ノ納規ニ於テ徵收スヘシ俱シ田方ハ第三第四ノ兩期ニ於テ徵收スヘシ

第二章

營業稅

第二條 商業工業ノ開廢(賣藥請賣及行商ハ賣藥規則ノ手續ニ依ル)ハ其ノ區役所ヘ届出ヘシ但警視廳ノ免許ニ係ル營業ハ其ノ免許證ヲ添フヘシ

第三條 營業稅前半年度分ハ四月一日ヨリ五月三十一

日迄ニ後半年度分ハ十月一日ヨリ十一月三十日迄ニ徵收スヘシ但シ區長ハ其ノ期限内ニ於テ徵收ノ日時ヲ定ムルコトヲ得

第三章

雜種稅

第四條 料理屋待合茶屋遊船宿芝居茶屋飲食店湯屋理髮人雇人受宿遊藝稼人相撲俳優間藝妓市場演劇興行遊覽所遊技場人寄席水車屠畜ノ開廢業ハ其ノ區役所ヘ届出ヘシ但シ警視廳ノ免許ニ係ル營業ハ其ノ免

許證ヲ添フヘシ

第五條 乘馬ハ營業自用ヲ區別シ所有者ヨリ其ノ區役所へ届出ヘシ

第六條 遊藝稼人相撲俳優ノ等級ハ郡區ヲ通シテ設ル

モノトシ遊藝稼人ハ頭取相撲ハ年寄總代俳優ハ座元

總代ノ連署ヲ以テ本人所在ノ區役所へ届出ヘシ

但シ其ノ等級變換ノ時モ亦同シ

第七條 料理屋待合茶屋遊船宿飲食店湯屋理髮人雇人受宿市場人寄席水車乘馬稅前半年度分ハ四月一日ヨ

リ五月三十一日迄ニ後半年度分ハ十月一日ヨリ十一

月二十日迄ニ徵收スヘシ

但シ區長ハ其ノ期限内ニ於テ徵收ノ日時ヲ定ムルコト

ヲ得

第八條 遊藝稼人相撲俳優間藝妓場稅ハ毎月二十日

迄ニ徵收スヘシ

第九條 芝居茶屋演劇及建物アル興行稅ハ其ノ開場十

日以上ノモノハ十日毎二十日未滿ノモノハ日數ニ應

シ前收シ上リ高ヲ準トスル興行及ヒ遊覽所稅ハ其ノ

開場五日以上ノモノハ五日毎ニ五日未滿ノモノハ閉
場ノ日上リ高仕譯書ニ依リ徵收スヘシ

第十條 船車稅ハ國稅ノ納期ニ於テ徵收スベシ

第十一條 屠畜稅ハ屠殺前所有者ヨリ屠畜場所在ノ區

役所又ハ戶長役場ヘ納メ領收證ヲ請取ヘシ屠畜場

クランリニ
管理人ハ其ノ頭數ヲ稅金領收證ニ照シ屠殺後其ノ證書

ニ屠殺濟ノ文字ヲ朱書シ返付スヘシ

第四章

家屋稅

第十二條 家屋稅ノ標準トスヘキ建物新築ノ時ハ左ノ

書式ニ依リ其所有者ヨリ其ノ區役所ヘ届出ヘシ但シ

其ノ増減變換ノ時モ亦同シ

第十三條 家屋稅前年度分ハ四月一日ヨリ五月三十一

日マテニ後半年度分ハ十月一日ヨリ十一月三十日迄

徵收スヘシ

但シ區長ハ其ノ期限内ニ於テ徵收ノ日時ヲ定ムルコト
ヲ得

建物新築届書式半紙ニ
ツ折

建物届

雜

何町何番地
一 石造又ハ煉化造土藏

平坪何坪
二階何坪
三階何坪

右所有人

何町何番地

何 誰印

年月日

會社其地共有ニ係ルモノハ
頭取又ハ總代人署名スヘシ

(圖ハ略ス)

郡部地方稅徵收規則

第一章

地租割

第一條 地租割ハ地租ノ納期ニ於テ徵收スヘシ但田方

ハ第三第四ノ兩期ニ於テ徵收スヘシ

第二章

營業稅

第二條 商業工業ノ開廢(賣藥請賣又行商ハ賣藥規則
ノ手續ニ依ル)ハ其戶長役場へ届出ヘシ但警視廳ノ

免許ニ係ル營業ハ其免許證ヲ添フヘシ

第三條 營業稅前半年度分ハ四月一日ヨリ五月三十一
日迄ニ後半年度分ハ十月一日ヨリ十一月三十日迄ニ
徵收スヘシ但郡長ハ其期限内ニ於テ徵收ノ日時ヲ定

ムルヲ得

第三章

雜種稅

第四條 料理屋待合茶屋遊船宿芝居茶屋飲食店湯屋理髮人雇人受宿遊藝稼人相撲俳優間藝妓演劇興行遊覽所遊技場人寄席水車屠畜採藻サイサウノ開廢業ハ其戶長役場へ届出へシ但警視廳ノ免許ニ係ル營業ハ其免許證ヲ添フヘシ

第五條 乘馬ハ營業自用ヲ區別シ所有者ヨリ其戶長役場へ届出へシ

第六條 遊藝稼人相撲俳優ノ等級ハ郡區ヲ通シテ設ケルモノトシ遊藝稼人ハ頭取撲相ハ年寄總代俳優ハ座元總代ノ連署ヲ以テ本人所在ノ戶長役場へ届出へシ但其等級變換ノ時モ亦同シ

第七條 客間キヤクマナキ料理屋同飲食店及待合茶屋遊船宿湯屋理髮人雇人受宿人寄席水車乘馬採藻稅前半年度分ハ四月一日ヨリ五月三十一日迄ニ後半年度分ハ十月一日ヨリ十一月三十日迄ニ徵收スヘシ但郡長ハ其ノ期限内ニ於テ徵收ノ日時ヲ定ムルヲ得

雜

第八條 客間アル料理屋同ノ飲食店及ヒ遊藝稼人相撲俳

優翫間藝技遊技場税ハ毎月二十日迄ニ徴收スヘシ

第九條

芝居茶屋演劇興行遊覽所税ハ其ノ開場五日以

上ノ者ハ五日毎ニ五日未滿ノモノハ閉場ノ日ニ徴收

スヘシ但シ演劇興行遊覽所ハ上リ高仕譯書ニ依ルヘシ

第十條 船車税ハ國税ノ納期ニ於テ徴收スヘシ

第十一條

屠畜税ハ屠殺前所有者ヨリ屠畜場所在ノ區

役所又ハ戶長役場ヘ納メ領收證ヲ請取ヘシ屠畜場管

理人ハ其ノ頭數ヲ税金領收證ニ照シ屠殺後其ノ證書ニ

屠殺濟ノ文字ヲ朱書シ返付スヘシ

第四章

戶數割

第十二條 戶數割ノ標準トスヘキ建物新築ノ時ハ左ノ

書式ニ依リ使用者ヨリ其ノ戶長役場ヘ届出ヘシ但シ其ノ増減變換ノ時モ亦同シ

第十三條 戶數割前半年度分ハ四月一日ヨリ五月三十

一日迄ニ後半年度分ハ十月一日ヨリ十一月三十日迄

ニ徴收スヘシ但シ郡長ハ其ノ期限内ニ於テ徴收ノ日時

キ定ムルコトヲ得

建物新築届書式半紙ニツ折

建物届

何村何番地

一石造又ハ煉化造土藏

一木造

二百

平坪何坪
二階何坪
三階何坪

平坪何坪
二階何坪
三階何坪

右使用人

何町村何番地

年月日

何 誰印

同上

同 上

⊕ ○明治二十年三月十九日勅令第五號

所得税法シヨトクゼイハク

第一條 凡ソ人民ノ資産ソツサン又ハ營業其ノ他ヨリ生スル所得

得金高一箇年三百圓以上アル者ハ此ノ税法ニ依テ所

得ヲ納ムヘシ但シ同居ノ家族ニ屬スルモノハ總テ戶

主ノ所得ニ合算カフサンスルモノトス

第二條 所得ハ左ノ定則テイソクニ據テ算出スヘシ

雜

二百一

第一公債證書其、他政府ヨリ發シ若クハ政府ノ特許

ヲ得テ發スル證券ノ利、營業ニアラサル、貸金預

金ノ利子、株式ノ利益配當金、官私ヨリ受クル俸給

手當金、年金、恩給金、及ヒ割賦賞與金、ハ直ニ其ノ

金額ヲ以テ所得トス

第二第一項ヲ除クノ外資産又ハ營業其、他ヨリ生ス

ルモノハ其ノ種類ニ應シ收入金高若クハ收入物品

代價中ヨリ國稅、地方稅、區町村費、備荒儲蓄金、製

造品ノ原質物價代、販賣品ノ原價、種代、肥料、營利

事業ニ屬スル場所物件ノ借入料、修膳料、雇人給料

負債ノ利子及ヒ雜費ヲ除キタル者ヲ以テ所得トス

第三第二項ノ所得ハ前三箇年間所得平均高ヲ以テ算

出スヘシ但シ所得收入以來末々三年ニ滿タサルモ

ノ八月額平均其ノ平均ヲ得難キモノハ他ニ比準ヲ

取テ算出スヘシ

第三條 左ニ掲グルモノハ所得稅ヲ課セス

第一軍人從軍中ニ係ル俸給

第二官私ヨリ受クル旅費、傷痍疾病者ノ恩給金及ヒ

孤兒寡婦ノ扶助料

第三營利ノ事業ニ屬セサル一時ノ所得

第四條 所得稅ノ等級及ヒ稅率左ノ如シ

等級

稅率

第一等 所得金高二萬圓以上百分ノ三

第二等 所得金高一萬圓以上百分ノ二半

第三等 所得金高壹萬圓以上百分ノ二

第四等 所得金高千圓以上百分ノ一半

第五等 所得金高二百圓以上百分ノ一

但シ所得金高ハ圓位未滿ノ端數ヲ算セス

第五條 所得稅ハ前半年分ヲ其ノ年九月ニ後半年分ヲ

翌年三月ニ納ムヘシ

第六條 此ノ稅法ニ依リ稅金ヲ納ムヘキ所得アル者ハ

其ノ年所得ノ豫算金高及ヒ種類ヲ記シ毎年四月三十

日マデニ居住地ノ戶長ヲ經テ郡區長ニ届出スヘシ

第七條 各郡區役所管轄内ニ七名以下ノ補缺員ヲ置キ

缺員ノ補充ニ備フヘシ 調査委員及ヒ補缺員ニ選ハ

レタル者ハ正當ノ專由ナクシテ之ヲ辭スルコトヲ得

ス

第八條 調査委員ハ其ノ郡区内ノ選舉ヲ以テ之ヲ定ム

第九條 調査委員ノ選舉人ハ二十五歳以上ノ男子ニシテ其ノ郡区内ニ現住シ所得税ヲ納ルモノニ限

ル但シ府縣會規則第十三條第一款第二款第三款第四

款ニ觸ル者ハ選舉人タルコトヲ得ス

第十條 郡區長ハ各町村内ニ五名ヨリ多カラサル町村

選舉人ノ員數ヲ定メ其ノ町村人民中第九條ノ資格ヲ

有スル者ヲシテ互選セシム但シ便宜ニヨリ數町村ヲ

合シテ五名ヨリ多カラサル選舉人ヲ定ムルヲ得

町村選舉ハ第九條ノ範圍内ニ於テ調査委員及ヒ補缺

員ヲ選舉スヘシ

第十一條 調査委員ノ任期ハ滿四年トシ二年毎ニ全數

ノ半ヲ改選ス但シ第一回ノ改選ハ抽籤ヲ以テ其ノ退

任者ヲ定ム

第十二條 調査委員ノ手當旅費其他調査ニ關スル費

用ハ國庫ヨリ之ヲ支給ス

第十三條 郡區長ハ第六條ノ屆書ニ據リ所得金高下調

雜

書ヲ製シ其ノ届書ト共ニ調査委員會ニ付スヘシ

第十四條 郡區長ハ納稅者ト認ムルモノニシテ第六條

ノ期限ヲ過キテ其ノ届出ヲ爲サル者アルトキハ所得金高ノ見積リヲ立テ之ヲ調査委員會ニ付スヘシ

第十五條 調査委員會ハ郡區長ノ招集ニ由リ之ヲ開シ

調査委員會ノ會長ハ郡區長ヲ以テ之ニ充ツ郡區長缺席スルハ會員ノ互撰ヲ以テ之ヲ定ム

第十六條 調査委員ハ會員過半数出席スルニアラサレハ會議ヲ開シコトヲ得ス會議ハ出席員ノ過半数ヲ以

テ之ヲ決ス可否同數ナルハ會長ノ可否スル所ニ依ル但シ自己ノ所得ニ關スルハ其ノ會議ニ與ルコトヲ得ス

第十七條 郡區長ハ調査委員會ノ決議ニ據リ各納稅者ノ所得稅等級金額ヲ定メ之ヲ納稅者ニ達スヘシ

第十八條 郡區長ハ調査委員會ノ決議ニ關シ意見アルトキハ府縣知事ニ具狀シ指揮ヲ請フヘシ

第十九條 納稅ニ於テ所得稅ノ等級金額ヲ不當トスルハ其ノ達ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ所得金高

明細書及ヒ其ノ證據シヨツヒヨウトナルヘキモノヲ添ソヘ府縣知事ニ申出ルヲ得但シ此ノ場合ニ於ケルモ其ノ税金ハ達ヲ受ケタル金額ニ從テ之ヲ納ムヘシ

第三十條 府縣知事ハ第十八條第十九條ノ場合ニ於テハ府縣常置委員會シヤウチキエイクワイニ付シテ調査セシメ其ノ決議ニ依テ之ヲ處分スヘシ但シ其ノ處分納稅後ニ涉ワタルキハ稅額ガクノ不足アルモノハ之ヲ追徵ツイチヤウクワシヨウシ過剩アルモノハ之ヲ還付スヘシ

第二十一條 調査委員會ハ常置委員ハ此ノ稅法ニ關シ

調査上必要ト認ムルキハ納稅者ニ尋問ツクモンスルコトヲ得

第二十二條 調査委員其ノ他所得稅ノ調査ニ關スル者ハ納稅者ノ資産及ヒ所得ニ係ル事件ヲ他ニ漏洩ロウセツスヘカラス

第二十三條 納稅者其ノ納期前ニ於テ所得金高十分ノ五以上ヲ減損シタルトキハ郡區長ニ申出ルコトヲ得郡區長ハ事實ヲ審査シンサシテ其稅額ヲ減シ所得金高一箇年三百圓ヲ下ルモノハ之ヲ免稅スヘシ但シ既納キノウノ税金ハ之ヲ還付セス

第二十四條 所得金高チ隱蔽シイシヘイ捕稅シホセイタル者ハ其ノ通稅金高三倍ノ罰金ニ處ス但シ自首スル者ハ其ノ稅金チ追徵シ其罪ヲ問ハス

第二十五條 第二十二條ヲ犯シタルモノハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十六條 第六條ノ届出チ爲サ、ル者ハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第二十七條 此ノ稅法ヲ犯シタル者ハ刑法ノフロンサイ不諭罪及ゲンケイサイボンカ減輕再犯チウスイサイク加重數罪ハツ俱發ノ例ヲ用ヒス

第二十八條 此ノ稅法施行ニ關スル細則ハ大藏大臣之セキヤウチ定ムクワン

第二十九條 此ノ稅法ハ明治二十年七月一日ヨリ施行ス但シ北海道オキチウケン沖繩縣及ヒ東京府管轄小笠原島伊豆七嶋タツニ於テハ官府ヨリ受ル俸給手當金年金及ヒ恩給金ノ外ハ當分ノ内之チ施行セズ

附則

本法第六條ノ届書ハ本年ニ限り七月三十一日マテニ差出スヘシ

○郵便條例罰則略 二百二十八條、二百四十五條、二百四十七條ハ前ニ出ツ

第二百二十七條 第十六條第三十三條第三十四條第六十九條第七十條第二百十四條ヲ犯シタル者ハ貳圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

左ニ記載シタル物ハ郵便物トナスヘカラス 一毒藥、劇藥、流動物、流動爆發燃燒腐敗シ易キ物、孚化スヘキ物、動物、植物、及ヒ鋒刃器、硝子器、陶器等ノ損傷シ易ク又他ノ郵便物ヲ損害スヘキ物品 一風俗ヲ害スヘキ文書、畫圖、寫眞、及物品 一金銀、寶玉、

一貨幣、但シ貨幣封入郵便ノ規則ニ從フモノハ此限ニ

アテス 第十條 ○郵便切手封皮葉書ハ郵便局郵便受取所郵便切手賣下所ノ外ニ於テ賣買スヘカラス 第三十條

郵便局郵便受取所郵便切手賣下所ハ郵便切手封皮葉書ノ印面稅額ヨリ低價ヲ以テ賣ルヘカラス 第三十條

郵便物運送ノ約定ヲ爲シタル者或ハ運送ノ托ヲ受ケタル者其ノ出發ノ日時ヲ定メ若クハ既定ノ日時ヲ變更スルルハ速ニ之ヲ其他ノ郵便局ニ届出ツヘシ 第十九條
○時期ヲ定メテ郵便物運送ノ命ヲ受ケタルモノハ

其ノ期ヲ變更スヘカラス第七十條○左ニ記載スル物ハ外國

ニ差立ル郵便物トナスヘカラス 一貨幣又ハ高價ノ

物品 一關稅クワンゼイヲ拂フヘキ物品 一第十六條第一項第

二項及第三項ニ記載シタルモノ第二百十四條

第二百二十九條

第五十七條第五十八條ヲ犯シタル者

ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

郵便物配達ヲ受ケタル肩書カダカキノ家ニ於テ其ノ受取人移

轉テンシタル片ハ直ニ之ヲ其配達人ニ還付スルカ或ハ

其ノ郵便物ニ加記カキ又ハ附箋フセンシ再ヒ郵便ニ出スヘシ但シ

受取人ニ達スル爲メ其ノ家ニ留メ置クモ日數三十日

ニ過クヘカラス第五十七條○其ノ家ニ屬セサル郵便物ノ配

達ヲ受ケタル片ハ其ノ由チ附箋シ速ニ之ヲ郵便ニ出

スヘシ 其ノ郵便物ヲ誤テ開封シタル片ハ更ニ封緘フウカン

シ其ノ事由ヲ副書ソヒカキシ速カニ之ヲ郵便ニ出スヘシ第五十八條

第二百三十條

第六十七條ヲ犯シタル者ハ貳圓以上百

圓以下ノ罰金ニ處ス

書狀ハ郵便局ヲ經由セサレハ之ヲ送達シ又ハ送達セ

シムヘカラス但シ左ニ記載シタルモノハ此ノ限ニアラ

ス 一送達料ヲ拂ハス臨時ニ親族朋友雇人ノ類ヲ以テ其ノ發信者ヨリ受信者ニ直ニ達スルモノ 一郵便ニ依ル能ハサル事故アリテ臨時ニ特使ヲ以テ其ノ發信者ヨリ受信者ニ直ニ達スルモノ 一貨物ト共ニ發スル無封ノ添狀送り狀第六十七條

第二百三十一條 第六十八條第二百二十三條ヲ犯シタルモノハ二圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

軍艦及海軍所屬ノ船舶ヲ除キ凡ソ内國各地ニ往復スル船車ノ所有主若クハ其ノ代理者ハ驛遞局又ハ郵便

局ヨリ左ニ記載シタル運送賃額ヲ以テ郵便物ノ運送ヲ托スルキハ之ヲ拒ムヘカラス但シ別段ノ約定アルモノハ此ノ限ニアラス 一第一種郵便物ハ一個一錢ニ超過セサル額 一第二種以下ノ郵便物ハ一個五厘ニ超過セサル額第六十八條 一軍艦及海軍所屬ノ船舶ヲ除キ凡ソ内國ヲ發シ外國ニ航スル船舶ノ所有主若クハ其ノ代理者ハ驛遞局又ハ郵便局ヨリ左ニ記載シタル運送賃額ヲ以テ郵便物ノ運送ヲ托スルキハ之ヲ拒ムヘカラス但シ別段ノ約定アルモノハ此ノ限ニアラス

一第一項郵便物ハ一個壹錢ニ超過セサル額 一第二項以下ノ郵便物ハ一個壹錢ニ超過セサル額第二百二十三條

第二百三十二條 カイダイユイ 懈怠故意ヲ問ハス第七十一條第七十

二條ヲ犯シタルモノハ二圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

郵便物ノ運送ヲ爲ス者ハ其ノ郵便物ヲ安全ニ保護ス

ハシ第七十一條 ○郵便物ヲ積載セル船舶ハ到達地ニ於テ

其ノ郵便物ヲ陸揚セシ後ニアラサレハ他ノ積載セル

貨物ヲ陸揚スヘカラス第七十二條

第二百三十三條 郵便封皮葉書帶紙オヒカミヲ偽造變造シ又ハ

其ノ情ヲ知テ之ヲ使用シタル者ハ一年以上五年以下

ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十四條 己レニ屬セサル郵便物ヲ開封シ又ハ

毀損汚穢シ或ハ私用賣却抑留隱匿拋棄シ若クハ之

ヲ受取人ニ非サル者ニ交付シ及ヒ其ノ情ヲ知テ之ヲ受

ケ又ハ寄藏故買シ若クハ牙保ヲナシタル者ハ一月以

上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰

金ヲ附加ス 郵便事務ヲ奉スルモノ自ラ犯シタルハ

維

ハ官吏備人約定人ヲ論セス本刑ニ一等ヲ加フ

第二百二十五條 郵便事務ヲ奉スル者自己若シハ他人

ノ爲メニスルヲ問ハス郵便物ヲ不當ノ方位ニ遞送シ

タル者ハ第二百三十四條第一項ノ刑ニ一等ヲ加フ

第二百三十七條

有税ヲ以テ免税トシ其ノ他詐偽ヲ以

テ郵便税ヲ免レタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮

ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十八條

不良ノ事ヲ行ハンカ爲メ郵便ヲ用ヒ

タル者ハ十一日以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以

上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十九條

驛遞總官ノ認可ヲ得スシテ郵便物ニ

驛遞局認可ノ文字ヲ用ヒタル者ハ五圓以上五十圓以

下ノ罰金ニ處ス

郵便物運送ニ使用セサル船車ニ郵便ノ記章又ハ郵便

ノ文字ヲ用ヒタル者亦同シ

第二百四十條

未納税又ハ不足税及ヒ別配達料解船

料貨幣遞送配達賃私書箱貸與料ヲ五日以内ニ納メサル

モノハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

郵便事務ヲ奉スルモノ徴收スヘキ郵便税別配達料解
船料貨幣遞送配達賃私書函貸與料ヲ徴收セサルトキ
亦同シ

第二百四十一條 郵便事務ヲ奉スル者郵便物ニ貼用セ
ル郵便切手ヲ剝取ルルハ一月以上一年以下ノ重禁錮
ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
其ノ未タ消印セウインヲナサル切手ヲ剝取ルモノハ刑法竊
盜タクノ本條ニ照シテ處斷ス

第二百四十二條 郵便爲替事務ヲ奉スルモノ郵便爲替

金及ヒ爲替料ヲ領收ウケウシユウセシテ爲替證書ヲ振出シ又ハ
爲替證書ヲ受取ラスシテ爲替金ヲ渡シタルハ二月
以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ

罰金ヲ附加ス

第二百四十四條 郵便物ニ押用セル印面ヲ變換シタル
者ハ二圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十六條 郵便函郵便行囊其ノ他郵便ノ器械ヲ
毀損汚穢シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處

シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

雜

⑨ ○證券印稅規則略

第一類

- 左ニ掲^カシル所ノ證書帳簿ハ金高ノ有無多寡ニ拘ハラズ
 下ニ定ムル所ノ印紙ヲ貼用スヘシ但シ當坐預^{アツカ}リ金引出
 小切手ハ大藏省ニ稅印ノ押捺ヲ請フヲ得
- 一 當坐預^{タウサアツカ}リ金引出小切手 印稅五厘
 - 一 委任狀^{サニシヤウ} 全 五厘
 - 一 金高記載ナキ約定證文 全 壹錢
 - 一 遺^イ物證文 全 壹錢

- 一 跡式讓證文 全 壹錢
- 一 讓與證文 全 壹錢
- 一 期限ヲ定メサル預^イリ金證文 全 壹錢
- 一 耕地小作證文^{カチコサク} 全 壹錢
- 一 雇人請合狀 全 壹錢
- 一 金高記載ナキ諸物品預^イリ證文 全 壹錢
- 一 金高記載ナキ諸物品借用證文 全 壹錢
- 一 地所預^イリ證文 全 壹錢
- 一 家屋預^イリ證文 全 壹錢
- 一 諸物品切手 全 壹錢

雜

- 一 借地 借家 證文 全 壹錢
- 一 賣買仕切書 全 壹錢
- 一 保險證文 ホウケン 全 壹錢
- 一 諸會社株券 カウケン 全 壹錢
- 一 送金手形 一年以内 全 壹錢
一册ニ付
- 一 金錢 諸物品 通帳 全 壹錢
- 一 金錢 諸物品 判取帳 全 貳拾錢
- 一 結社約定書 ケツシヤ 全 壹錢

但シ 結社約定書ニ 金圓授受貸借ニ係ル條項アリテ之

カ効 ウカ カチ 確定スル 證書帳簿ハ 金高記載ナシト雖モ 第二類金高記載アル 諸般ノ 契約證書ニ準シ 印紙ヲ貼用スヘシ

スヘシ

左ニ掲ケル所ノ 證書ハ 金高五圓以上ノモノニ限リ下ニ

定ムル所ノ 印紙ヲ貼用スヘシ

- 一 營業ニ關スル 送狀 クワン 印稅壹錢
- 一 營業ニ關スル 請取帳 全 壹錢

右諸證書ヲ通帳ト爲スルハ 都テ一年以内一册ニ付壹錢ノ 印紙ヲ貼用スヘシ

第二類

左ニ掲グル所ノ證書ハ金高ノ多寡ニ隨ヒ下ニ定ムル所ノ割合ヲ以テ印紙ヲ貼用スヘシ

但^{カハセ}爲替手形約束手形ハ手形用紙ヲ用フヘシ

- 一 金錢借用證書
- 一 ^{地所}買買證書
- 一 金高記載アル諸物品預リ證書
- 一 金高記載アル諸物品借用證書
- 一 諸物品買買證書

一 金錢定期預リ證書 ^{タイキアツカ}

一 金高記載アル諸般ノ契約證書 ^{ケイヤク}

金高壹圓以上貳拾圓未滿 印稅壹錢

金高貳拾圓以上五拾圓未滿 全 貳錢

金高五拾圓以上百圓未滿 全 四錢

金高百圓以上百五拾圓未滿 全 六錢

金高百五拾圓以上貳百圓未滿 全 八錢

金高貳百圓以上三百圓未滿 全 拾一錢

金高三百圓以上四百圓未滿 全 拾四錢

雜

二百三十二

金高四百圓以上六百圓未滿

全貳拾錢

金高六百圓以上八百圓未滿

全二十六錢

金高八百圓以上千圓未滿

全三十二錢

金高千圓以上千四百圓未滿

全三十八錢

金高千四百圓以上千七百圓未滿

全四拾四錢

金高千七百圓以上貳千圓未滿

全五拾錢

金高貳千圓以上貳千五百圓未滿

全六拾錢

金高二千五百圓以上三千圓未滿

全七十錢

金高三千圓以上三千五百圓未滿

全八十錢

金高三千五百圓以上四千圓未滿

全九十錢

金高四千圓以上

全壹圓

右諸證書ヲ通帳ト爲スハ其ノ附込見積金高ニ隨ヒ下

ニ定ムル所ノ印紙ヲ貼用スヘシ

金高百圓未滿

印稅四錢

金高百圓以上總テ諸證書稅率ニ據ルヘシ

一 金錢當座預リ證文 一 質物預リ書
小札

金高一圓以上二十圓未滿

印稅壹錢

金高貳拾圓以上

全 貳錢

雜

二百三十三

右諸證書ヲ通帳ト爲スルハ其ノ附込見積金高ニ隨ヒ下ニ定ムル所ノ印紙ヲ貼用スヘシ

金高百圓未滿

印税印錢

金高百圓以上

全 四錢

一 爲替手形 一

荷爲替手形

一 約束手形

金高五拾圓未滿

印税一錢

金高五拾圓以上百圓未滿

全 貳錢

金高百圓以上貳百圓未滿

全 四錢

金高貳百圓以上五百圓未滿

全 八錢

金高五百圓以上千圓未滿

全十五錢

金高千圓以上貳千圓未滿

全廿五錢

金高二千圓以上

全五拾錢

第十九條 印紙ヲ貼用スヘキ證書帳簿ニ之ヲ貼用セス

若シハ貼用不足スルモノ及ヒ手形用紙ヲ用ヒス若ク

ハ不足税ノ手形用紙ヲ用ヒタルモノハ脱税高^{タツセイ}二十倍

ノ料料又ハ罰金ニ處ス其ノ證書帳簿ヲ受取タルモノ

亦同シ

第二十條 第十八條ノ場合ヲ除ク外第五條ノ手續ニ據

雜

テ消印クスインヲ爲サヌ又ハ他ノ印ヲ以テ消印シタルモノハ
印税高十倍ノ科料又ハ處ス其ノ證書帳簿ヲ受取タル
モノ亦同シ

此ノ規則ヲ犯シ脱税ダツセイニ係ルモノハ處罰シヨバツヲ受クル後證
書帳簿ノ受取人ニ於テ相當ノ印紙ヲ貼用スルヲ得
第十條 ○印紙ハ證書ノ差出人又ハ帳簿主ニ於テ證書ハ
授受ノ前帳簿ハ使用ノ前ニ貼用シ證書帳簿記名ノ下
ニ押捺カウダツスル印ヲ以テ證書帳簿ノ紙面ト印紙ノ彩紋サイモント
ニカケテ消印スヘシ第五條

第二十一條 此ノ規則ヲ犯シタル證書帳簿ニ請人證人

トシテ加印シタルモノハ各正犯カクシヨウボシニ係ル科料罰金ノ半
額カケニ相當スル科料又ハ罰金ニ處ス

第二十二條 第八條ノ證書帳簿ノ檢査ケンサヲ拒ミタル者ハ

貳圓以上貳拾圓以下ノ罰金ニ處ス

印紙ヲ貼用スヘキ帳簿仕切書送り狀シユニンクレンハ主任官之ヲ檢

査スルヲアルヘシ第八條

第二十三條 第十條及ヒ第十三條ヲ犯シタルモノハ貳
圓以上拾圓以下ノ罰金ニ處ス

雜

第二類ノ帳簿ハ初丁へ附込見積金高及ヒ使用期限紙
 數ヲ記載スヘシ但シ物品ノ授受ニ關スルモノハ其ノ代
 價ヲ記載スヘシ第十條 ○前條ノ帳簿餘白アリテ尙之ヲナホ
 使用セシトスルキハ第十條ノ手續ヲ以テ更ニ相當ノ
 印紙ヲ貼用スヘシ第十條
 第二十五條 第七條ヲ犯シタルモノハ所持ノ印紙及ヒ
 賣得金ヲ沒收シ五圓以上五拾圓以下ノ罰金ニ處ス
 印紙及ヒ手形用紙ハ官ノ許可ヲ得タル賣捌所ニ非サ
 レハ之ヲ賣捌クヲ得ス第七條

明治二十年四月廿六日版權免許
 同 年五月刻成

定價五拾錢

編輯人

東京府平民
 土生柳平
 東京日本橋區本材木町
 二丁目四番地平民服部
 藤左衛門方寓居

出版人

東京府平民
 濱島精三郎
 同同區馬喰町二丁目
 十一番地

同

東京府平民
 鯨井利助
 淺草區馬道町二丁目
 五番地



特別大販賣所

信州

西澤喜太郎

東京

大倉孫兵衛

高見甚左衛門

吉川半七

小山左傳次

水野慶二郎

成田良太郎

小林八郎

越後

目黒十郎

石川治兵衛

樋口小左衛門

荒川藤兵衛

西村六平

辻岡文助

井筒駒吉

高橋松之助

室直三郎

小林喜右衛門

本田勝太郎

原田庄左衛門

中村政次

榑原友吉

鈴木常七

鈴木喜右衛門

羽前

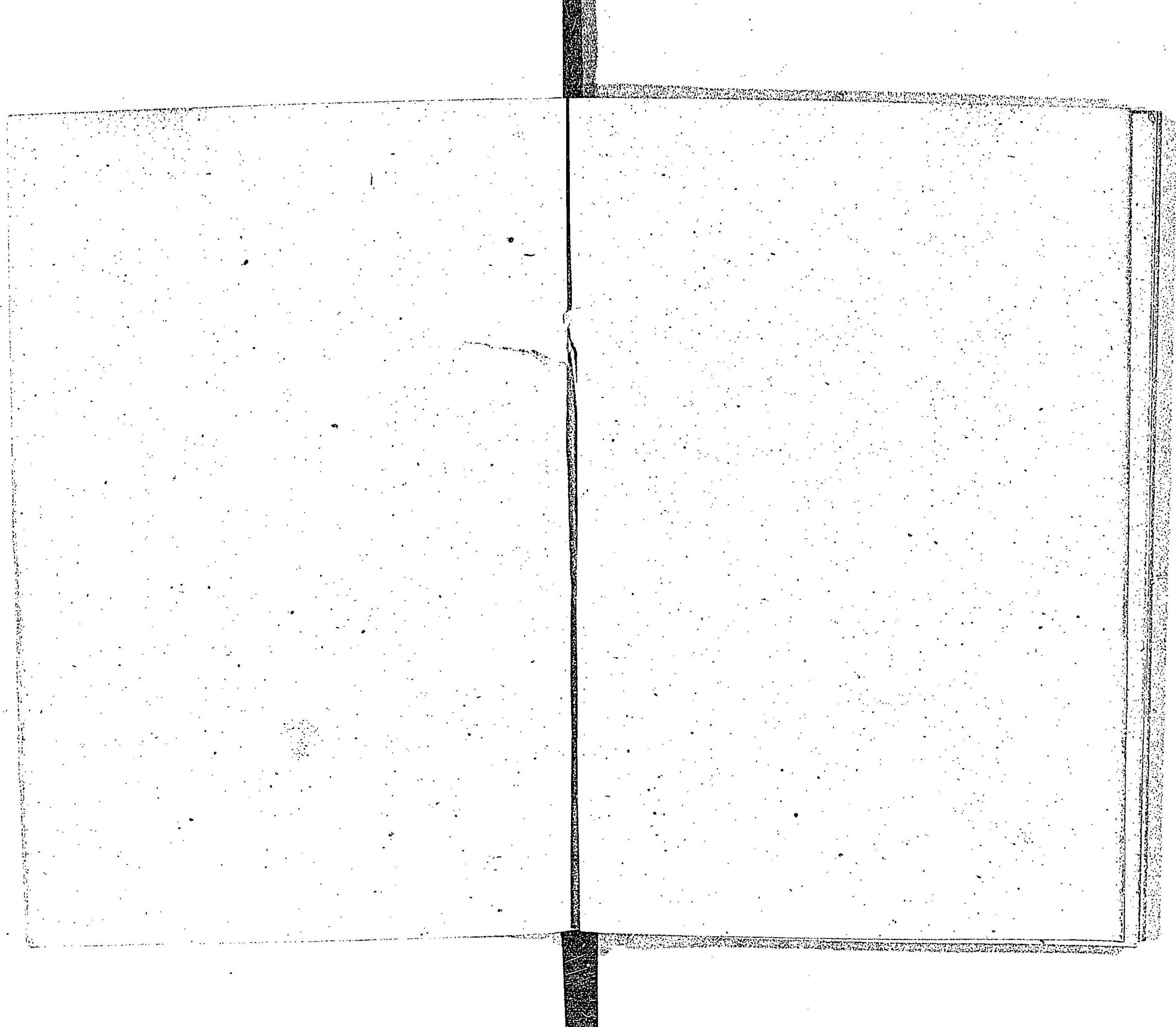
五十嵐太右衛門

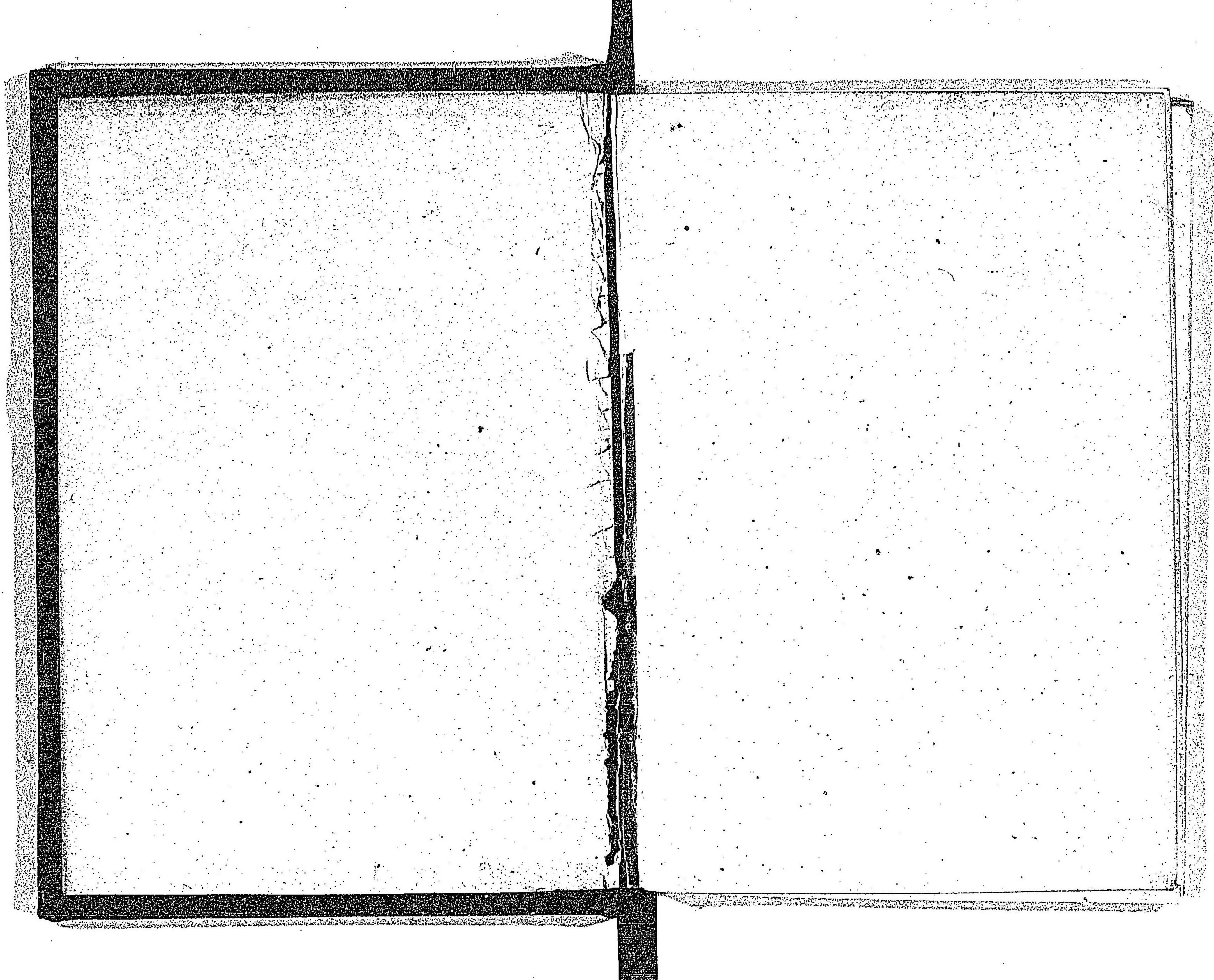
内田彌兵衛

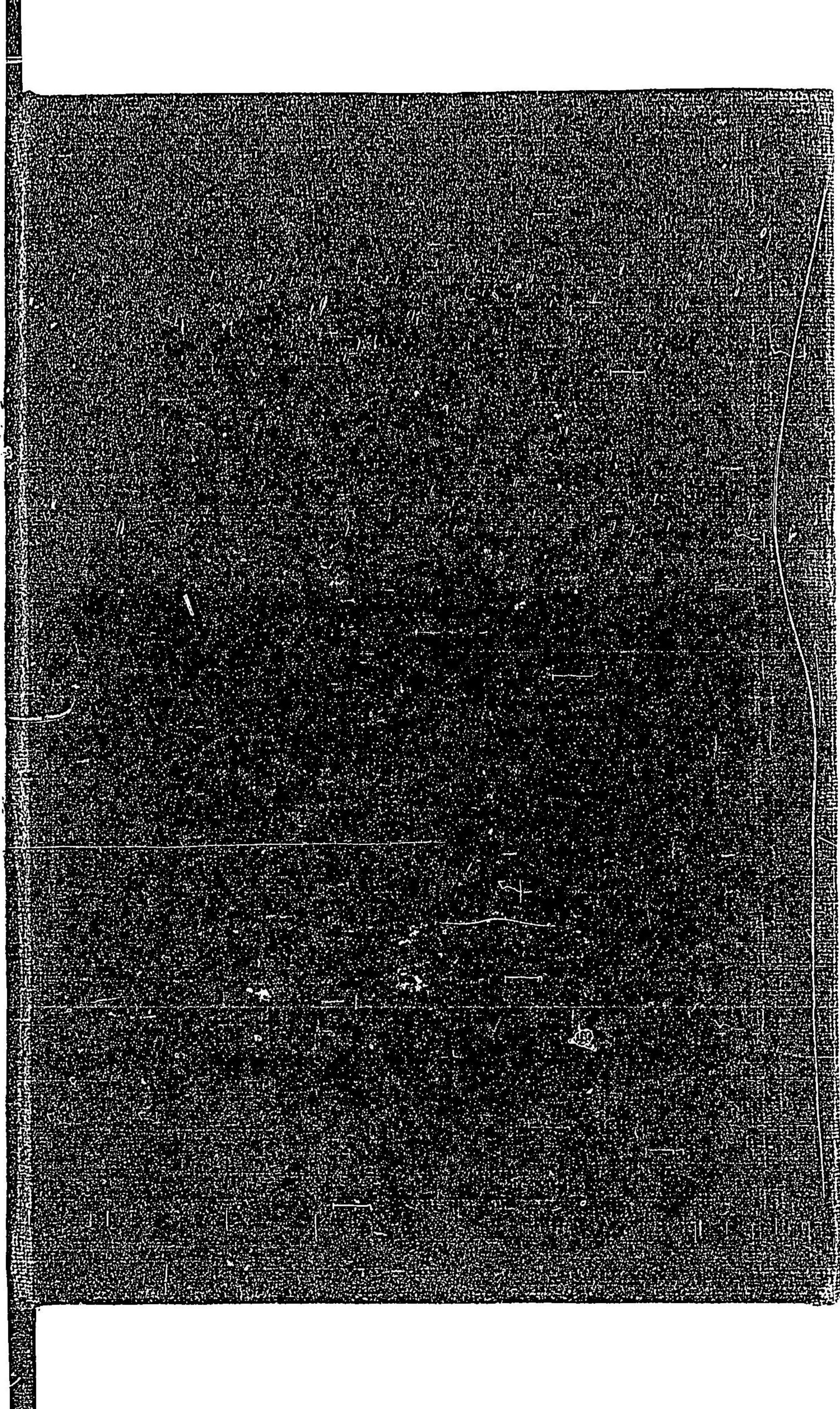
出雲寺萬二郎

荒井清作
荒井太四郎
本間金之助
上野屋彦太郎
富屋久之丞
瀧田屋萬助
内藤傳右衛門
柳正堂源太郎
函館細間重吉
横濱繪雙紙屋各中
横須賀各書林中
浦賀山本佐兵衛
西京大坂名古屋
各書林中

杉本音七
明治書房
鶴田芳兵衛
内田乙次郎
佐藤乙次郎
金港堂
柳川梅次郎
文川學社
覺張榮次郎
牧野善兵衛
稻垣武八
和田篤太郎
山中孝之助
松山三郎
中川仁三郎







特61

632

館籍書會育教本日大
 室六第
 一冊號二架四區

禁電子式複写

030918-000-8

特61-632

現行規則万民法典

土生 柳平 / 編

M20

BBC-0238



